

| | | | | | | | |
|---|---|----------|----|-------------|----|------|----|
| 科目名 (英) | 発達と老化の理解A (Study of Development and Aging A) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | |
| 学科・コース | 介護福祉士科 | 授業 形態 | 講義 | 総時間 (単位) | 30 | 開講区分 | 後期 |
| 【授業の学習内容】 | | | | | | | |
| <p>発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識が理解できる。具体的には、人間の発達段階を踏まえて、老年期における発達課題や心身および体の変化の特徴を理解し、日常生活への影響について理解できる。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| <p>※人間の発達と老化を理解して、高齢者の気持ちを踏まえた介護が実践できるようになる。また、老化と発達の根拠に基づき、利用者の社会参加や自己実現を目指す活動に関しての介護が実践できるようになる。</p> <p>大目標・・・「人間の成長と発達の基礎的理解」、「老年期の発達と成熟」、「老化に伴うところとからだの変化と日常生活」、「高齢者と健康」について理解できる。</p> <p>中目標・・・「人間の成長と発達」、「老年期の発達と成熟」、「老化に伴うところの変化」、「高齢者の心理」について理解できる。</p> | | | | | | | |

| 授業計画・内容 | |
|------------------------------------|--|
| 1回目 | 「成長と老化」…人間の成長と老化について、演習を交えながら理解できる。 |
| 2回目 | 「人間の成長と発達①」…人間の発達の定義について理解できる。 |
| 3回目 | 「人間の成長と発達②」…人間の発達段階及び発達課題について理解できる。 |
| 4回目 | 「人間の成長と発達③」…発達とその個人差について理解できる。 |
| 5回目 | 「老年期の発達と成熟①」…老化とは、老化の定義について、老人福祉法の概要について理解できる |
| 6回目 | 「老年期の発達と成熟②」…老化と老年期について理解できる |
| 7回目 | 「老年期の発達と成熟③」…老年期のところとからだの変化について理解できる。 |
| 8回目 | 「老年期の発達と成熟④」…老年期の発達課題の留意点について理解している。 |
| 9回目 | 「老化に伴うところの変化①」…老化が及ぼす心理的影響について理解できる。 |
| 10回目 | 「老化に伴うところの変化②」…老いの価値観・受容及び喪失体験について理解できる。 |
| 11回目 | 「老化に伴うところの変化③」…高齢者のところの問題と精神障害について理解できる。 |
| 12回目 | 「老化に伴うところの変化④」…要介護状態になった高齢者の心理について理解できる。 |
| 13回目 | 「高齢者の心理①」…老化の受容について理解できる。 |
| 14回目 | 「高齢者の心理②」…老年期の障害と心理的な変化について理解できる。 |
| 15回目 | 「高齢者の心理③」…老後の経済状態の現実について理解できる。 |
| 準備学習 時間外学習 | 準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。 |
| 評価方法 | 成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。 |
| 受講生への メッセージ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | |
| 教科書：新・介護福祉士養成講座⑩「発達と老化の理解」（中央法規出版） | |